

The Daily NNA

アジア経済情報紙 <http://www.nna.jp/>

NNA (Malaysia) Sdn. Bhd.

D-3-5, Megan Avenue 1, No189 Jalan Tun Razak 50400 KL
Tel:03-2163-6226 Fax:03-2163-9993 E-mai:sales@nna.com.my

マレーシア版

KDN PP 11802/2/2009(020669) MICA(P) 124/09/2007 転載契約: Star Publications/Bernama

10~12月経済成長ゼロ 通年4.6%、外需縮小で

【運輸】航空2社とも増収減益、格安航空は赤転 **3**

【食品】日系セレボス、チキンエキス新工場着工 **4**

News Headline

【運輸】値上げから一転、据置きへ：高速料金 **4**

【運輸】印に航空整備会社、マ航空系折半出資で

【IT】財省系MDV、ITなど22億リング融資 **5**

【IT】米HDD大手の工場取得、日立は否定 **5**

【労働】外労者受入れ凍結、製造サービス業で

【食品】食に不況なし、ネスレ四半期純益倍増

【金融】独系保険アリアンツ、純益9倍に **6**

【経済】経済開放・多様化に評価、ムーディーズ

【経済】豪・NZとのFTA交渉継続、貿産相

【経済】KL南部スポーツ都市化、担当相推進へ **7**

【社会】麻薬密造団チュラスで摘発、市内最大級

【金融】市況：総合指数は続落、消費財が安い

アジア情報

【インド】「ナノ」いよいよ発売へ、4月2週から予約受付 **8**

【インド】FDI流入額、10~12月は45%減

【インド】H Z Lが銀増産、2013年に500トンへ

【シンガポール】セントーサ島の新交通計画、11年完工

【シンガポール】丸紅、4月にASEAN統括会社を設立 **9**

ほか3本

テイクオフ各国・地域版 13

カルパル議長は車椅子で高齢。発言の内容はともかく、若手議員が多勢で迫るといふのは感心されない。一方、無勢の中、救援の先頭に立った屈強なインド系の大男は、議長の息子のゴピンドシン議員だった。傍観者の目には野党側に同情が集まりそうに写るが、国民の判断やいかに。(佐)

野党・民主行動党(DAP)のカルパル・シン議長の発言をめぐる、国会議場で乱闘が発生。写真は老齢のカルパル議長の救出に向かう息子のゴピンド・シン議員(中央左)と、混乱収束を図る警備員ら(スター提供)

Today's Flash



野党・民主行動党(DAP)のカルパル・シン議長の発言をめぐる、国会議場で乱闘が発生。写真は老齢のカルパル議長の救出に向かう息子のゴピンド・シン議員(中央左)と、混乱収束を図る警備員ら(スター提供)

NNAマレーシア版は、本日付で紙面を一部刷新しました。最新記事やお勧め記事を集めた「ニュースフラッシュ」、各地のおもしろネタを紹介する「Asia'nファイル」、東南アジアに加えてインドや中国の動向を伝える「アジア情報」を新たに掲載します。曜日別特集も、マレーシアにフォーカスし、実務に役立つ情報を充実させていく予定です。

TOPICS

アジア労働市場の最前線から **11**

【第71回】
日本的経営の特殊性(2)
コミットメントはあるか?

週間スケジュール **12**

書籍ランキング **12**

株式(2/27日終値、KL証券取引所)
KLCI 890.67 - 2.75
為替(2/27日17時現在、中銀)
1RM = 26.32円 100円 = 3.80RM
1米ドル = 3.70RM 1ユーロ = 4.69RM

Market Information

商品市況・クロスレート... 14
株式・為替 15

Take Off

「国会が台湾の立法院のようになってしまった恥辱の日」。2月26日に発生した国会議事堂での野党議員による場外乱闘を伝える地元紙は、そんな書き出しで始まっていた。

【マレーシア 経済】

10～12月経済成長ゼロ 通年4.6%、外需縮小で

マレーシア中央銀行が発表した2008年第4四半期の国内総生産(GDP)成長率は前年同期比プラス0.1%となり、7年ぶりの低水準を記録した。外需縮小が響いて第3四半期の4.7%から一段と減速した。通年はプラス4.6%。1～6月期(上期)が堅調だったことを映した。

第4四半期は全産業が失速した。製造業は第3四半期のプラス1.8%からマイナス8.8%に落ち込んだ。外需縮小が直撃した輸出型産業はマイナス1.1%からマイナス12.3%に落ち込みが拡大。内需型産業も、建材生産の落ち込みで、プラス8.4%からマイナス2.5%へと大幅に悪化した。

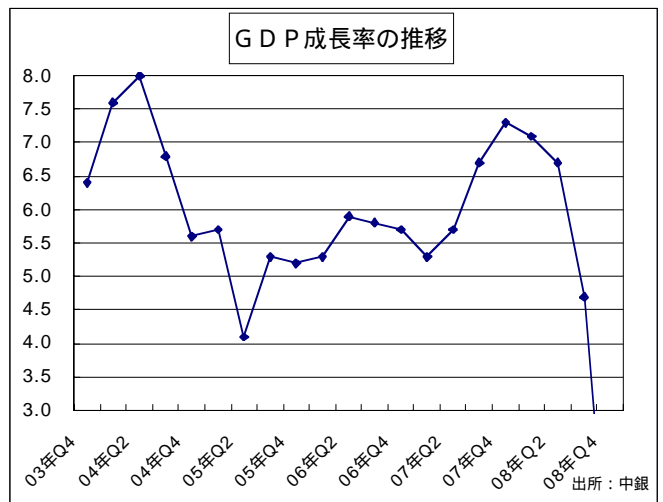
サービス業は5.6%伸びたが、前期の7.1%からは減速している。卸売り・小売り、ホテル・レストラン、不動産、ビジネスサービス、ユーティリティーが堅調だった一方、株式市場と製造業の低迷が波及したためだ。

農業は3.0%増から0.5%増に減速したもののプラス成長を確保した。ゴム生産の落ち込みをパーム油が補った格好。鉱業は石油・ガス生産が減少し、マイナス0.3%からマイナス5.7%に悪化している。

外需縮小響く

内需は6.5%増から3.1%増に縮小。個人消費は、製造業の雇用情勢や消費者心理の悪化で8.1%増から5.3%増に鈍化した。公共消費は、給与、供給、サービスなどが伸びて6.9%から13.8%に増大した。固定資本形成はプラス3.1%からマイナス10.2%へと大きく悪化。インフレ率は8.4%から5.9%に下落した。

外需縮小は鮮明だ。輸出額はプラス16.8%から一転してマイナス7.4%に転落。電気・電子をはじめ工業製品全体の主要国向け需要が縮小したことに加え、半



導体価格の下落も響いた。商品輸出も48.1%増から6.1%増に急ブレーキ。鉱物が減退した上に、農産物が価格下落で急激に落ち込んだ。

外国直接投資(FDI)流入額は93億リンギ。前期実績である216億リンギの半分以下にまで減った。ただ、グループ企業間での資金の出入りを調整すると34億リンギとなり、20億リンギから増えている。

成長の鍵は内需

中銀は世界金融危機の影響は当初の予測よりもはるかに広範かつ深刻で、各国の対策にもかかわらず、景気の下揺れや回復が遅れる懸念が残ると指摘。マレーシアへの影響も輸出減少のかたちで現れており、今後の成長は内需にかかっているとの見方を示した。特に個人消費と公共消費が重要なファクターになるとみている。

中銀は、市場での資金流動性を確保するため、1日から銀行が中銀に無利子で預ける法定準備金(SRR)の比率を2%から1%に引き下げている。

News ウェーブ
21

Webで読む、日刊工業新聞

日刊工業新聞 / News ウェーブ 21NNA版 ※日本国外限定のサービスです。

業種別最新ニュースや新技術・新製品の紹介など、ビジネスに直結する情報を毎日(月～金)配信 1記事 300文字程度のコンパクトな情報 過去記事は1週間分までカバー

【マレーシア 運輸】

航空 2 社とも増収減益、格安航空は赤転

地場航空 2 社の 2008 年 12 月通期決算が 2 月 27 日に出そろった。ともに増収を確保したものの、燃料費の高騰により事業コストが増加したことなどを受け、フラッグキャリア、マレーシア航空(MAS)が前期比 7 割の大幅減益、格安航空エア・アジアが赤字転落と、厳しい結果となった。

MAS の売上高は前期比 1.8% 増の 155 億 371 万リンギ、純利益が 71.3% 減の 2 億 4,431 万リンギの増収減益だった。営業費用が 5.9% 増加し利益を圧迫した。

営業利益は 65.1% 減の 3 億 546 万リンギだった。営業費用では、燃料以外の部分で 8% の削減を実現した

ものの、燃料価格の高騰分を吸収し切れなかった。

エア・アジアの売上高は 36.6% 増の 26 億 4,026 万リンギ、純損益は 4 億 7,174 万リンギの赤字に転じた。前期は 6 億 9,762 万リンギの黒字だった。

営業費用の上昇幅は売り上げの伸びを大きく上回る 46.1% に達した。営業利益では 11.0% 増を確保したものの、燃料価格変動をヘッジするためのデリバティブ取引の評価損など営業外費用 6 億 4,095 万リンギ、為替差損 1 億 9,200 万リンギなどを計上したことが響き、最終赤字となった。

年間乗客数は 22% 増、平均料金は同 11% 増の 204 リンギ、搭乗率は 3.2 ポイント減少し 75.4% だった。

NEWS FLASH

値上げから一転、据置きへ：高速料金

3 月 1 日付で主要 5 高速道路の通行料金を値上げするとの公共事業省の発表について、ナジブ副首相は 2 月 27 日の閣議後に会見し、「無期限凍結する」と述べた。国営ベルナマ通信などが報じた。

印に航空整備会社、マ航空系折半出資で

マレーシア航空(MAS)傘下のMASエアロスペース・エンジニアリング(MAE)が、インドに整備・修理・オーバーホール(MRO)の合弁会社を設立する。

外労者受入れ凍結、製造サービス業で

政府が製造・サービス両分野での外国人労働者の新規受け入れを凍結した。サイドハミド・アルバル内務

相が明らかにした。国営ベルナマ通信によると、先月 26 日の下院議会で答弁の中で明らかにした。調理人と清掃員は例外としている。

経済開放・多様化に評価、ムーディーズ

国際的な格付け機関ムーディーズ・インベスターズ・サービスは報告書の中で、マレーシアに対する高い投資格付けの理由として、開放的かつ多様化された経済に評価を示した。

財省系MDV、ITなど22億リンギ融資

財務省傘下のベンチャーキャピタル、マレーシア・デット・ベンチャー(MDV)が昨年までに融資した地元企業数が 249 社、累計額が 22 億リンギに上ったことが分かった。



人材紹介・人材派遣

ジェイエシー リクルートメント

JAC Recruitment

マレーシア国内だけでなく、日本やシンガポール、タイ、インドネシア、中国などでの就職・転職をご希望の方もお問い合わせください。(http://www.jac-recruitment.my でオンライン登録も可能です)

[K L 本社] Tel:03-2715-5525 japdiv@jac-recruitment.my

[ペナン支店] Tel:04-641-0150 jacpg@jac-recruitment.my

[ジョホール支店] Tel:07-278-1122 jacjb@jac-recruitment.my

【マレーシア 食品】

日系セレボス、チキンエキス新工場着工

サントリー傘下の健康食品メーカー、セレボス(マレーシア)が需要拡大を受け、スランゴール州シャアラムのブキットジェルトンに新工場を建設する。国営ベルナマ通信が伝えた。

ゼネラルマネジャーのコー・ジューシアン氏は、2月28日の新工場起工式で、新工場が2010年に完成すると明らかにした。投資額は7,500万リンギ。

既存のペタリンジャヤ工場で主力商品の「ブラン

ズ」ブランドのチキンエッセンスなどを生産しているが、フル稼働状態に達している。

既存工場の月産能力は80万本、新工場と合わせて180万本に引き上げる計画だ。新工場では同ブランドのツバメの巣なども生産する予定。

コー氏によると、セレボスの売り上げはここ数年、2けた増を続けており、向こう数年も同様の成長を見込む。シンガポールのセレボス・パシフィックがグループの中核会社。

【マレーシア 運輸】

値上げから一転、据置きへ：高速料金

3月1日付で主要5高速道路の通行料金を値上げするとの公共事業省の発表について、ナジブ副首相は2月27日の閣議後に会見し、「無期限凍結する」と述べた。国営ベルナマ通信などが報じた。

モハド・ジン公共事業相の26日の発言によると、値上げされる予定だったのは 南北高速道路 ケリンチ~ダマンサラ・リンク道路 アンパン~クアラルンプール高架道路 スンガイベシ高速道路 新パンタイ高速道路 の5有料道。

上げ幅は南北高速道が5%、他の4道路が10~50セン。南北高速道でクダ州ブキット・カユヒタムからジョホール州ケンパスまで利用した場合の料金は、現行の108リンギから113.4リンギになることになっていた。

高速道路料金をめぐっては、運営業者との契約で2008年1月1日に値上げされる予定だったが、経済情勢を考慮し政府が実施を凍結。収入不足分を穴埋めしてきた。補てん額はこれまでに計2億4,500万リンギに上るといふ。

高給取りに寒風、月収10万ドルは15%減

【香港発】政府統計処が発表した2008年第4四半期(10~12月)の世帯調査統計によると、月収10万HKドル(約120万円)以上の個人は3万4,600人で、前期に比べ15.4%減少した。5万HKドル以上も15万5,600人で8%の減少。金融危機が高額所得者を直撃しており、消費や税金にも影響しそうだ。

2月25日付の香港経済日報は「高額所得者は香港の経済をけん引する原動力。人数の減少は消費の落ち込みを招き、所得税の減収は政府の財源にも跳ね返る」と危機感を伝えている。人材コンサ

ルティングの中原人力資源顧問は、「景気悪化で最大の打撃を受けたのは高額所得者。ほとんどが金融業従事者で、今年上期(1~6月)にはさらに人数が減る」と見込んでいる。

専門家は、今年は高額所得者が大幅に減少し、これまでの中流層が下層に追い込まれるなど、全体的な収入減に発展するとみている。月収1万8,000~3万HKドル、1万~1万8,000HKドル、7,000HKドル以下の層ではじわり人数が増えている。



配信無料

あなたのライバルも読んでいる！ 4万部発行のメールマガジン

NNA BUSINESS MAIL

【申込み・サンプル】 <http://news.nna.jp/free/businessmail/>

【マレーシア 運輸】

印に航空整備会社、マ航空系折半出資で

マレーシア航空(MAS)傘下のMASエアロスペース・エンジニアリング(MAE)が、インドに整備・修理・オーバーホール(MRO)の合弁会社を設立する。

同社発表によると、ラジブ・ガンジー国際空港(別称ハイドラバード国際空港)を運営するGMRハイドラバード国際空港(GHIAL)との折半出資で、新会社MAS GMRエアロスペース・エンジニアリングを立ち上げる。MAEのロスラン・イスマイル社長とGHIALのP.S.ナイル最高経営責任者(CEO)の間で先月27日、合意文書が交わされた。

イスマイル社長は、MRO事業の36年を超える実績

を持ち、独ルフトハンザ航空、サウジアラビア航空、ジェットエアウェイズ(インド)、豪カンタス航空、オーストリア航空のほか、航空機リースのAWAS、RBS、GEコマーシャル・エビエーション・サービス(GECAS)などを顧客に持つと強調。インドの航空会社が現在、機材整備を海外に依存しているとして、低価格と高品質サービスで顧客を獲得すると意欲を示した。

調印式に参加したMASのN.サダシバン副会長は、2010年第3四半期までの操業開始を目指すと表明した。同社は先月18日、インドのジェットエアウェイズとのコードシェア便の運航開始を発表したばかり。

【マレーシア IT】

財省系MDV、ITなど22億リンギ融資

財務省傘下のベンチャーキャピタル、マレーシア・デット・ベンチャー(MDV)が昨年までに融資した地元企業数が249社、累計額が22億リンギに上ったことが分かった。

MDVは2002年、国際協力銀行(JBIC)から16億リンギの融資を受け、情報通信技術(ICT)分野の開発に向けた投融资を目的に設立された。その後、バイオテクノロジー分野へのファンドを立ち上げていた。

ニュー・ストレーツ・タイムズによれば、昨年の申請受付件数は78件で、総額6億5,800万リンギ。うち

34件に総額4億2,000万リンギ相当が審査中という。

MDVのスビル・アンソリ・ヤハヤ社長兼最高経営責任者(CEO)は、資金回収が速いICT分野が大きな割合を占めると話す。また経済停滞で中小企業の資金調達要請が増えているほか、大型事業計画の停止で、小規模事業が増えていると指摘。MDVを活用した資金調達を呼び掛けた。

バイオテクノロジー分野では、昨年未までに3億リンギ相当の申請があり、うち約1億リンギが承認されたとしている。

【マレーシア IT】

米HDD大手の工場取得、日立は否定

日立製作所が、米国のハードディスク駆動装置(HDD)製造大手、ウエスタンデジタルのサラワク工場買収のうわさをあらためて否定したもようだ。

ニュー・ストレーツ・タイムズが先月27日、外電として伝えた。日立本社の広報担当者が電話取材に応じ、ウエスタンデジタルが操業を停止した同州工場の取得に興味を示しているとの地元紙の報道を一蹴。「報道は事実でなく、現時点でそのような計画や話し合いはない」と否定した。

日立の名前は、ウエスタンデジタルが工場売却を検討しているとの話が表面化した1月、ジョージ・チャン同州副首相の口から、潜在的な売却先の1つとして浮上していた。

先月27日付スターは、工場買収に興味を抱く企業が

従業員の獲得にも関心を示しているとして、同社が従業員の解雇の実施を先送りしたと伝えている。

ウエスタンデジタルは昨年12月、世界的な経済停滞による受注減少を受け、サラワク州工場の操業を1月から停止すると発表。約1,500人の従業員を3月までに全員解雇する方針を示した。これに対し、同州政府は同社幹部と複数回にわたって話し合い、計画の再考と従業員への十分な対応を求めてきた。

空港と機内サービスとキャビンアテンダントと世界のエアラインの話	
いまして飛行機に乗りたくなる本	
— 秋本 俊二 著 —	
カリスマ旅師による空のおもしろ話がギッシリ!	●会員価格 RM90 (マレーシア国内販売価格)

【マレーシア 労働】

外労働者受入れ凍結、製造サービス業で

政府が製造・サービス両分野での外国人労働者の新規受け入れを凍結した。サイドハミド・アルバル内務相が明らかにした。

国営ベルナマ通信によると、先月26日の下院議会で答弁の中で明らかにした。調理人と清掃員は例外としている。

外部委託の名目で好ましくない外国人が入国してき

ているとの野党・民主行動党(DAP)所属議員の指摘に対しては、事実が確認でき次第、対策と徹底的な監視措置を講じると説明した。

外国人労働者に対する課税については、農業やプランテーション事業など、「3K(きつい・汚い・危険)」と呼ばれ、地元労働者の獲得が難しい分野については、外国人労働者への課税率を低く抑えていると説明した。

【マレーシア 食品】

食に不況なし、ネスレ四半期純益倍増

食品大手ネスレ(マレーシア)は、経済停滞の影響が広がった昨年第4四半期に利益倍増を果たした。

ニュー・ストレーツ・タイムズによれば、同期の売上高は前年同期比13.5%増の9億7,260万リンギ、純利益は前年同期実績の2.3倍強に相当する7,730万リンギに達した。すべての事業分野で予想を上回る成長を示した。

通年業績は、売上高が前年比14.7%増の39億リン

ギ、純利益は同16.7%増の3億4,090万リンギで、目標としていた2けたの増益増収を果たした。

サリバン・オカロール社長は、今年は長期戦略に基づき、ハラル(イスラム教徒向け)製品の工場に設備投資を継続する考えをあらためて示している。

ネスレは1912年、ペナン州で操業を始め、事業拡大に伴い39年にクアラルンプールに拠点を移した。62年に最初の工場をプタリンジャヤに開設したのを皮切りに、現在は国内に8つの製造拠点を置く。

【マレーシア 金融】

独系保険アリアンツ、純益9倍に

ドイツ系の保険大手アリアンツ・マレーシアの昨年の税引き前純利益が1億1,230万リンギとなり、前年比で9倍強に拡大した。

ニュー・ストレーツ・タイムズによると、同社のアレキサンダー・アンケル最高経営責任者(CEO)は、「加入者に持続的な価値を創造している証拠」と述べ、好業績に満足感を示した。

収入保険料(GWP)を部門別にみると、損害保険のアリアンツ・ゼネラル・インシュアランス(AGIC)とアリアンツ・マレーシアが完全傘下に収めた元

コマースア・シュアランス(CAB)は、合わせて10億7,000万リンギで、前年を43.6%上回った。

生命保険のアリアンツ・ライフ・インシュアランス(ALIM)は前年比16%増の6億9,200万リンギだった。

アリアンツ・マレーシアの総資産は、前年の16億9,000万リンギから19億7,000万リンギに16.6%増加した。

アリアンツは2001年にマレーシア市場に参入。アリアンツ・マレーシアを持ち株会社とし、各種保険事業を展開している。

不況で結婚・出産先延ばし、新生児も減

【韓国発】22年連続で増加していた新生児数と出生率が、景気の停滞で昨年は減少に転じたことが分かった。東亜日報などが伝えた。

統計庁によると、昨年生まれた新生児の数は46万6,000人で前年比2万7,000人(5.5%)減少した。1人の女性が妊娠可能年齢(15~49歳)に生む子供の数を示す合計出生率は0.06人減の1.19人で、3年ぶりに減少した。

立春が2回あり縁起がいいとされる「双春年」だった2006年や生まれた子どもが幸せになるといわれる「黄金のブタ年」だった07年には出生率が増加したが、昨年は景気悪化により結婚や出産を遅

らせる女性が増え、出生率が下落したものとみられる。

一方、昨年の婚姻件数は32万9,600件で1万6,000件(4.6%)減り、2000年(7.9%減)以降、最大の減少幅となった。

離婚件数は11万7,000件で7,600件(6.1%)減少した。ただ、实体经济の悪化が本格化した12月単月では前年同月比11.3%増と急増した。

低出産の傾向はしばらく続くとみられており、不況が長期化した場合、出生率は1.0人以下に下落する可能性もある。



【マレーシア 経済】

経済開放・多様化に評価、ムーディーズ

国際的な格付け機関ムーディーズ・インベスターズ・サービスは報告書の中で、マレーシアに対する高い投資格付けの理由として、開放的かつ多様化された経済に評価を示した。

昨年3月、経済のファンダメンタルの堅調さを評価し、長期外貨建て債務の格付けを「A3」に据え置いた。

ニュー・ストレーツ・タイムズによると、今年のマレーシアの国内総生産(GDP)成長率を、前年予測の5.0%から0.5%へと大きく下方修正した。マレーシア政府も昨年11月、5.4%から3.5%に修正しており、

ナジブ副首相はさらなる引き下げを示唆している。

マレーシアの経済規模は2,110億米ドルで格付け「A」ランクの国の中で中間値の2倍に相当し、産業の多角化が進んでいると評価。対外債務支払額が輸出額(外貨収入額)の3.0%と、中間値の6.3%の半分以下と良好な状況にとどまっている点も強調した。

一方、強い財政規律の確立に向けた取り組みと、民間投資促進のための構造改革の必要と指摘。民間投資が低いため近年、政府の補助金やインフラ投資支出がかさんでいると警告した。

【マレーシア 経済】

豪・NZとのFTA交渉継続、貿産相

東南アジア諸国連合(ASEAN)会議に出席するためタイを訪問したムヒディン・ヤシン国際貿易産業相は、豪州、ニュージーランド(NZ)との自由貿易協定(FTA)交渉を今後も継続する方針を示した。

2月28日付国営ベルナマ通信によると、マレーシアとNZとの次回交渉は4月に予定される。

アルコール飲料を免税項目に入れることを望むNZ側に対し、マレーシア側は高関税を課す妥当な理由があるとして、理解を求める方針だ。

政府調達に関しても主張に隔たりがあるという。投資に関してはまだ調整が必要なものの、妥結できると

の見通しを示す。豪州ともNZと同様の点で主張の違いがあるとしている。

マレーシアとNZの昨年の貿易額は62億リンギ、豪州との貿易額は362億リンギだった。

アセアン豪NZ協定7月発効

ASEANは同27日、豪州、NZとの包括的FTAを締結した。7月1日に発効する。

関税は項目により即時、または8~11年以内に撤廃する。投資、サービスの自由化、経済協力も盛り込んだ包括的協定で、互いに2020年までにほとんどの関税を撤廃する。

【マレーシア 経済】

KL南部スポーツ都市化、担当相推進へ

イスマイル・サブリ・ヤアコブ青年・スポーツ相は、経済停滞の状況下にもかかわらず、スポーツ都市化計画を推進する意向を示した。

国営ベルナマ通信によると、クアラルンプール南部に位置するブキットジャリルにあるナショナル・スポーツ・コンプレックスを、より総合的なスポーツ施設に変貌させる。現在は計画段階という。

同コンプレックスは、1999年開催の旧英国領の各国による競技会、コモンウェルス・ゲームの誘致を狙って同省主導で建設が進められ、マハティール前政権下の98年7月に正式オープン。2001年には、東南アジア諸国連合(ASEAN)のオリンピックと位置付けられる「第21回シーゲームズ」のメイン会場として使

用された。

敷地内には、スタジアム・ナショナル スタジアム・ブトラ スタジアム・ホキ・ナショナル ナショナル・アクアティックセンター ナショナル・スカッシュセンター などがある。

同相は3月1日以降、パナソニック・スポーツ・コンプレックス、ジャランデュタ・ホッケースタジアム、ジャランデュタ・ナショナル・テニスセンターといったほかのスポーツ施設も同省の管轄下に置くと述べた。将来的は、同省がすべてのスポーツ施設を統括するという。

ナショナル・スポーツ委員会は競技者の訓練、ナショナル・スポーツ研究所はスポーツ科学と、それぞれ機能別の役割を担当させる計画だ。

【マレーシア 社会】

麻薬密造団チュラスで摘発、市内最大級

クアラルンプール警察当局は、チュラスの高級コンドミニアムの1室を合成麻薬の密造、出荷拠点として利用していた一味を摘発した。大きな犯罪シンジケートに組み込まれた組織と見られる。2月27日付ニュー・ストレーツ・タイムズなどが報じた。

警察はクラン・ラマ通りで客を待っていた密売人を逮捕し、乗っていた車両からケタミン4,975グラムを押収。取り調べを元に2日後、チュラス地区タマン・

コンノートの該当コンドミニアムの19階にある部屋を捜索し、覚せい剤加工設備、ヘロインを含む麻薬を発見、車両5台も押収した。

警察によると、クアラルンプールで過去最大規模の麻薬摘発。一味は1年ほど前から活動し、国外にも密輸していたもよう。主犯は別にいるとみている。

逮捕された2人は薬物検査で陽性反応を示した。警察は別に、歓楽街で合成麻薬を所持していた密売人の男を逮捕し、ピストルと実弾5発を押収した。

【マレーシア 金融】

市況:総合指数は続落、消費財が安い

2月27日大引けのマレーシア株式市場は続落。クアラルンプール総合指数は前日比0.31%(2.75ポイント)安の890.67で引けた。

値下がり銘柄数49に対して値上がり銘柄数28、変わらずが23と売りが優勢。セクター別では、電気通信サービス、一般消費財・サービスが売られた半面、情

報技術、素材が高い。

個別では、銀行のマヤン・バンキング(メイバンク)、コングロマリットのサイムダービーなどが売られ、指数を圧迫した。また、農林のIOIも安い。

一方、銀行のプミプトラ・コマース・ホールディングス(BCHB)が買われた。また、電力のテナガ・ナショナル(TNB)も高い。

アジア情報

【インド 車両】

「ナノ」いよいよ発売へ、4月2週から予約受付

自動車大手タタ・モーターズの超低価格車「ナノ」の発売日程が決まった。同社が26日に発表したスケジュールによると、まず3月23日にムンバイで「ナノ」を披露する。4月の第1週には各地の販売代理店に並べ、第2週から予約受付を開始する。予約方法など詳細は23日に発表するという。

1台10万ルピー(約19万円)という「ナノ」は、昨年1月に「デリー・オートエキスポ」で公開され、大きな話題を呼んだ。当初は10月の発売としていたが、主力工場に予定していた西ベンガル州シングルでの用地買収に失敗。10月にグジャラート州サナンドへの移転を決定し、発売を09年1~3月に延期するとしていた。

新型ピックアップを発売

これに先立ち同社は、新型ピックアップトラック「ゼノンXT」を発売した。4ドア5人乗りで、同社のスポーツ多目的車(SUV)「サファリ」と同じく、排気量2,200ccの可変ツインターボ(VTT)を採用したコモンレール式直噴ディーゼル(DICOR)エンジンを搭載している。価格は二輪駆動タイプが76万2,000ルピー、四輪駆動が85万8,000ルピー。

国内のピックアップトラック市場は小さく、同じカテゴリーで競合する車種はマヒンドラ・アンド・マヒンドラ(M&M)の「スコピオ・ゲートウエー」以外には見当たらない。そのためタタは当面の間、「ゼノンXT」の月間生産台数を500台に抑える方針だ。



闘う男たちの唄を聴け
暴動、政変、通貨危機。
インドネシアに根をはった
日系合弁銀行の半世紀におよぶ
感動のノンフィクション

実録 インドネシア日系合弁企業の50年

アドゥー サバール プルダニア

NNAプルダニア取材班 大住 昭/工藤 裕子

【インド 経済】

F D I 流入額、10～12月は45%減

2008年10～12月期のインドへの外国直接投資(FDI)流入額は39億4,000万米ドルで、前四半期に比べ45%減少したことが分かった。クマール産業相が上院での質疑に対して書面で回答したとして、25日付エコノミック・タイムズなどが伝えた。

インドのFDI流入額は、第1四半期(2008年4～

6月)の100億7,000万米ドルから第2四半期(7～9月)は71億4,000万米ドルに減少。08/09年度のFDI流入額の政府目標は350億米ドルだが、昨年末時点で211億5,000万米ドルと達成率は67%に過ぎず、達成はさらに厳しくなった。

クマール産業相は「政府は海外からの投資誘致の促進に本腰を入れて取り組むべき」と指摘している。

【インド 資源】

H Z L が銀増産、2013年に500トンへ

鉛・亜鉛開発最大手のH Z Lは、銀の増産を進める。主にラジャスタン州ウダイプル北225キロメートルの地域にあるSIndesar Khurd鉱山の銀鉱石生産を引き上げ、2013年までに年産規模を500トンに拡大する。実現すればアジアトップ、世界6位の銀生産企業になるという。

同社の銀生産はここ数年で急成長。06/07年度に

約51トンだったのが、07/08年度には約80トンまで拡大した。08/09会計年度の銀生産量は、08年12月までで70トン。通年では100トンを見込んでいる。原料供給源となるSIndesar Khurd鉱山からの銀鉱石の年産量は、30万トンから150万トンに増える見通しという。

インドの銀需要量は現在、年間3,200トン。このうち77.1%を輸入、18.8%を再生銀に頼っており、H Z Lの供給量は2.5%にとどまっている。

【シンガポール 商業】

丸紅、4月にASEAN統括会社を設立

丸紅はこのほど、シンガポールに東南アジア諸国連合(ASEAN)地域統括会社の「丸紅アセアン会社」を設立すると発表した。今年4月に開設する予定。

同社の広報担当者は26日、NNAの取材に対し「これまでASEAN地域はシンガポールにいる『アセアン支配人』という役職が統括を担当していたが、統括専門の会社を設立するのは初めて。ASEANの経済統合が進展する中で、地域内取引の強化、および中国やインドとの地域間取引の拡大に対応して、国の枠を超えた事業展開を進めていく」と話す。

シンガポールの現地法人である丸紅シンガポール会

社を母体にして、域内のマレーシア、タイ、インドネシア、フィリピンの各現地法人と、化学品事業商社のマルベニ・ケミカル・アジア・パシフィックを傘下に収めて設立する。資本金は78億円で、丸紅が100%出資する。社長は現在のアセアン支配人が兼務する。

管轄国はASEAN10カ国で、統括会社を核に地域内の戦略的な企画立案・事業展開・人材育成を拡充して、管理機能と営業力の強化を進めていく方針だ。

丸紅では今後、ASEANで経済統合が進むことにより域内のサービスや投資の自由化が加速するほか、人材の移動が活発化すると見通しを立てている。

【シンガポール 観光】

セントーサ島の新交通計画、11年完工

セントーサ開発公社(SDC)はこのほど、セントーサ島内の新交通計画の詳細を明らかにした。26日付地元各紙が報じた。

SDCの関連会社セントーサ・レジャー・グループ(SLG)が2億5,000万Sドルを投じて計画を推進する。島内中央部のタワー「ザ・マーライオン」から西部のフォート・シスロまでのロープウエーを敷設する。毎時1,400人、最大5,000人を運搬し、水族館や昆虫園などの各アトラクションを結ぶ。現在マウントフェーバーと島内中心部スカイタワーまで運行しているロープウエーを運営するセントーサ・ケーブルウ

エーが建設、運営、機材の導入を実施する計画だ。

このほか、本島とカジノ総合リゾート(IR)リゾーツ・ワールド・アット・セントーサ(RWS)までの間に専用遊歩道を設ける。全長620メートル、幅25～60メートルで、一部は電動式歩道となる。一方で、これまで本島との間を運行していたバス・サービスは廃止する。

2011年までの完成を目指す。具体的な着工時期、予算、運賃の有無などは公表していない。

同島には、ピーク期間中で1日平均3万人が訪れるが、来年のRWS完成後は10万人以上になると予想されている。

【シンガポール 製造】

1月製造業生産、前年同月比30%減

経済開発庁(EDB)が26日発表した2009年1月の製造業生産高指数(2007年=100、速報値)は71.4となり、07年を基準値として以来、最低の水準となった。4カ月連続のマイナス成長で、減少率も前年同月比29.1%減と2けた減。前月比(季節調整済み)は4.4%減だった。

業種別では、業界全体の3割を占める電子部門が43.1%減と大幅に落ち込んだ。世界的な電化製品の需要減退で、前月の35.4%減からさらに悪化した。特に情報通信・家電が61.1%減で、前月の62.1%減に続き不振だった。

精密エンジニアリングも37.4%減と前月の21.7%減から悪化。機械・システムが34.4%減、モジュール部品が景気後退による受注減で39.8%減とそれぞれ4カ

月連続で2けたの落ち込みを示した。

前月まで2カ月連続でプラス成長だったバイオ医療も27.3%減とマイナスに転落。製薬が27.0%増から28.8%減となったことが響いた。医療技術は8.1%減に終わった。

化学は24.0%減だった。石油と石油化学がそれぞれ7.6%減、29.2%減で前月からマイナス幅が若干回復したものの、特殊やその他の悪化が響いた。

運輸エンジニアリングは3.3%増でプラス成長を維持したものの、前月の5.7%増から増加幅が縮小している。船舶・海洋が2.7%減から14.5%増と2けたの増加に転じた一方、航空部門が航空機の補修作業の減少で22.7%増から4.5%減になった。

【ベトナム 農水】

双日、越などで農業参入検討へ

双日が内外で農業分野への本格参入を決め、海外ではまずベトナム、タイ、フィリピンを有力視していることが分かった。これら3カ国では、肥料事業で築いた基盤の活用を考えているという。

海外での農業分野参入は今のところ具体的な計画はなく、現地での本格的な調査なども未着手。4月1日の「アグリビジネス部」発足後に、検討作業が本格化する見通しという。

双日広報部では、「海外における対象をベトナム、タイ、フィリピンに限っているわけではない」とする一方で、「(同社の基盤が)何もなかったところでのスタートではなく、肥料事業で既に基盤とパイプがあり「得意

とする」3カ国でまず参入機会を探ることを、「1つのアプローチとして考えている」と明らかにした。

双日は、ベトナムではベトナム化学総公社(ビナム)との合弁で、高度化成肥料の製販を手掛けるジャパン・ベトナム・ファertilizer(JVC)を経営。またタイ、フィリピンでもそれぞれ関連会社のタイ・セントラル・ケミカル、アトラス・ファertilizerを通じて化成肥料事業を展開している。双日広報部は2005～06年頃のデータとして、ベトナム、タイ、フィリピンの化成肥料市場における同社のシェアを約50%、約57%、約40%と明らかにした。各国で1位を確保しているという。

【中国 労働】

パナソニック工場で数百人抗議か、希望退職の補償金めぐり

パナソニック傘下の北京松下電子部品有限公司でこのほど、希望退職の補償金支給額をめぐり数百人の従業員が幹部に抗議する事態が発生したもようだ。景気低迷でメーカー各社が生産調整を迫られる中、人員削減の難しさを浮き彫りにしたともいえる。同社は「引き続き従業員の理解が得られるよう誠意を持って対応する」とコメントしている。

同社には、数百人が6時間余りに渡ってオフィスに押しかけたもようだ。26日付京華時報は、抗議した従業員が「600人」と報じている。

従業員の話では、25日午後北京松下電子部品から希望退職を募るとの通達とともに、経済補償金の算出方法が伝えられた。このうち、設立と同時に就職したある一般ワーカーが条件に照らし合わせ算出したとこ

ろ、4万元程度だった。一方で幹部の補償金はその10倍前後だったことから、多くの従業員が抗議する事態に発展した。同工場の従業員数は1月末時点で約1,300人。

同社は希望退職の人数についてはわからないとしている。従業員代表は労働部門へ申し出る姿勢を明らかにしているようだ。北京には同子会社のほか3カ所の生産拠点を設けているが、それら3工場では希望退職は行わないという。

北京松下電子部品は1993年、朝陽区望京科技园で設立し、主にスピーカーなどを生産している。ただ同紙によると、昨年下半年頃からは受注が減少、スピーカー(月産能力1,000万個)の生産台数は11月には300万個まで落ち込んでいたという。

月曜特集

アジア労働市場の最前線から —意欲がわく職場づくり—

第71回

日本的経営の特殊性(2)

コミットメントはあるか?

【執筆者の紹介】國分圭介(こくぶんけいすけ)

1973年大分県生まれ。東京大学博士(アジア経済論)。社団法人国際経済労働研究所主任研究員、クアラルンプール事務所駐在員。アジア各地でモチベーション調査を行う。
電話:60-167-879417 電子メール: kokubun@iewri.or.jp

前回から、「日本的経営の特殊性」というテーマで書いています。新卒者以外を雇用しないという特徴を持つ日本の雇用慣行、すなわち終身雇用制度が、アメリカの経営コンサルタント、ジェームズ・アベグレンの言葉「Lifetime Commitment(終身雇用)」に由来するものであることを述べました。アベグレンは、終身雇用を日本の経営の本質であるとして、肯定的に評価しています。従業員が「ライフタイム(人生)」を費やして会社に対して「コミットメント」をしているので、日本企業は強いのだと説いています。

しかし、おやと思われた方もいるかも知れません。現在、「終身雇用」は通常、「Lifetime Employment」と訳されます。いつの間にか、「コミットメント」が「エンプロイメント」に変わっているのです。言うまでも無く、「コミットメント」が、従業員から会社への能動的な働きかけであるのに対して、「エンプロイメント」は、会社から従業員への「雇用」を表すにすぎません。両者には相当に大きな違いがありますよね。もしも、皆さんの会社に、「コミットメント」が無く、有るのは「エンプロイメント」だけならば、いわゆる「大企業病」の末期症状といえるでしょう。

コミットメント エンプロイメント

しかし、筆者は、日本の多くの会社では、「コミットメント」と「エンプロイメント」の区別をあまり真剣に考えられてこなかったのではないかと考えています。これは、離職率が低いために、外観からは、ある従業員が「コミットメント」を持って働いているのか、あるいは、ただ「エン

プロイメント」されているだけなのか、見分けが難しいからです。「コミットメント」が無いにもかかわらず、上司の前などの要所では、「コミットメント」を持っているかのように振る舞い、良い立場をキープしている人も少なくないでしょう。このように、日本企業は、ヤル気の有る人も、あるいは、有るかのうように振舞っている人も、新卒入社から定年までともに働き続けるという、特殊性を帯びているのです。

一方、マレーシアなど他国ではいかがでしょうか。日本のように新卒一斉採用という慣習は無いので、転職はずっと容易です。当然、会社が気に入らなければ、すぐに別の会社に移ることが出来ます。こうした環境では、「コミットメント」の低さがすぐに離職率の上昇となって表れるので、会社は「コミットメント」と「エンプロイメント」の区別に相当に気を使わなくてはならないのです。

よく、まだ駐在期間の短い日本人出向者から、「マレーシア人はすぐに会社を辞める。彼らは会社のことなんてどうだっていい、自分さえ良ければいいと思っているんだよ」なんて話を聞かされますが、その都度、筆者は、それは間違っているのだということをするようにしています。マレーシア人の多くは、決して会社に関心が無いのではなく、社会に貢献し、また、従業員に夢を与えてくれるような会社で働きたいと、真剣に思っているのです。そのため、そうした希望がかなえられない会社であると見限るや、早々に会社を去っていくのです。

次回から、上記のような筆者の見解を支持するようなデータを、徐々に紹介していきましょう。



NHK教育テレビ『趣味悠々』(2007年)の講師で人気若手写真家、初の単行本

モンゴリアン チョップ 清水哲朗 (写真家)

モンゴルに魅せられた新進気鋭の写真家が、大自然の中で繰り広げるリアルドキュメント。

《 椎名誠氏推薦! 》 定価 / RM110 (マレーシア国内販売価格) 四六判並製(カ92頁) 発行 / NNA

今週の What's Up?

スケジュールは変更される場合があります

4日(水)

トレンガヌ州：祝日「スルタン戴冠記念日」

6日(金)

統計局：1月の貿易統計発表

中銀：外貨準備高(2月末時点)発表

7日(土)

クアラルンプール：日本映画上映会「ごめん」

2002年、富樫森監督。大阪郊外に住む小学6年生のセイは、京都に祖父母を訪れた際、偶然見かけたナオコに恋をしてしまう。しかし中学2年生の「年上の女」との恋は思うように進まない。

【場所：映画開発公社(FINAS) 開演：15:00、
問い合わせ：国際交流基金(03-2284-6228)】

9日(月)

【公休日】ムハンマド降誕祭



書籍ランキング

単行本

- | | | |
|------------------------|----------------------------|-------|
| 1. Cher2009 Spring/Sum | | 宝島社 |
| 2. 読めそうで読めない間違いやすい漢字 | 出口宗和 | 二見書房 |
| 3. 欲情の作法 | 渡辺淳一 | 幻冬舎 |
| 4. うちの3姉妹特別編 | 松本ぷりっつ | 主婦の友社 |
| 5. オバマ大統領就任演説 | バラク・オバマ/English Express編集部 | 朝日出版社 |

新書

- | | | |
|--------------|------|------|
| 1. 断る力 | 勝間和代 | 文藝春秋 |
| 2. モデル失格 | 押切もえ | 小学館 |
| 3. ああ、監督 | 野村克也 | 角川書店 |
| 4. 人間の覚悟 | 五木寛之 | 新潮社 |
| 5. グロ - バル恐慌 | 浜矩子 | 岩波書店 |

2009年2月16日～2月22日 紀伊國屋書店ホームページ<http://bookweb.kinokuniya.co.jp/>より



新刊案内

『グロ - バルリ - ダ - 開発シナリオ』

キャメル・ヤマモト 著

海外展開で直面する最大の課題をどう解決するか?人材開発の「プロセス」と「場づくり」の2つのアプローチで、日本企業が「リーダーを開発するグローバル組織」に進化する道のりを具体的に示す。

(日本経済新聞出版社)



『グ - グル・ジャパンで働く
11人の英語勉強法』

ENGLISH ZONE編集部

おすすめの1冊

英語学習誌が行った、グーグルで働くスタッフへのインタビュー集。登場するスタッフに共通するのは、日本で育ち、日本の英語教育を受け、大人になってから英語力を獲得したという点。同時に、英語のみならず業務に必要な能力については主体的に獲得していかうとする意思が強く感じられる。

(中経出版)

シンガポール

シンガポールで航空業界関係者と話す
とよく出る話題がシンガポール航空(SIA)の強さである。日本線では、世界最大の旅客機であるエアバスのA380をいち早く導入して話題づくり。ピーク時の半分以上に落ち込んでいる日本からの渡航者の取り込みに成功しているという。

クアラルンプールとの往来が始まり、日系を含む各航空会社に一通り搭乗してみた。格安航空会社の台頭で空席が目立つ路線だが、SIAのみ行きも帰りも満席である。東京～大阪間とほぼ同じ距離の短い路線ということもあり、サービスに加えて機材も大小はあれ、大きな違いは感じないのだ。

景気低迷で旅客需要も冷え込んでいる。シンガポールが世界に誇るSIAは競争力を維持していけるのか。こんな時にこそ、実力の本質が問われる。(利)

海を越え、都市をつないで、

フィリピン

最近副業を持つタクシー運転手が多いのだろうか。先日「マダム、専属運転手いらない？ボディーガードもするし」と売り込まれ、今日ばフィリピンで家買わない？」とパンフレットを渡された。

パンフレットには、一戸建てと長屋建てのモデルハウスの写真。どれも2階建てで、1番広いもので150平米。「初めてのマイホームにぴったりです」とある。熱心に見ていると、「一番安い物件で140万ペソ(約280万円)、興味あったら電話して」と声を掛けられた。心が動いたが、フィリピンに永住するわけがなし、そもそも外国人はコンドミニアム以外買えないのである。

昨年、日系の退職者用住宅を取材した時、1LDKで6万5,000米ドルからと、販売価格が手ごろなのに驚いた。自分が住むまで賃貸することも可能だ。老後はフィリピンで。考えとくか。(夏)

インドネシア

テレビがついているタクシーに乗った。運転席と助手席の間の肩の高さの位置に備え付けてあり、操作をしなくても走り出すと放送が始まった。リモコンで見たいチャンネルに切り替えるなり、スイッチを切るなりしろということらしい。特に運転手からの説明はない。

タクシーくらい静かに乗りたいと思うが、めずらしかつたのでチャンネルを変えてみると、地元の放送局だけでなく衛星放送も入るようだ。運転手氏に聞くと、テレビ搭載車両は200台ほどあるという。

1チャンネルは車両向け放送機器販売会社のCMを流している。それによると、渋滞中の娯楽に最適といった宣伝だ。タクシーの移動距離で映画専門チャンネルまで入っていることには疑問があったが、渋滞の時は全編見通すことができるという皮肉だろうか。(今)



編集室からアジアの今を

香港・華南

ここ3年はいつも夫を連れて帰国していた。実家近くの温泉でゆっくりしたくても、湯船に漬かる習慣がない香港人の夫は数分で満足して上がってしまう。久しぶりに地元の友人たちと集まると、横にちょこんと座っている彼を気にして、女だけの話題で思う存分盛り上げられない。帰国のたびにストレスをためて戻って来ることもあった。

今春は家計を引き締めるという理由で、久しぶりに一人帰国の許可をもらった。早速友人たちにメールを送り、再会の約束が目白押しだ。

そうとは知らぬ彼からは、日本にいる知人への挨拶回りなどやっかいなお使いを山ほど託された。次回も一人帰国を認めさせるため、分刻みのスケジュールでこの難局を乗り切る予定である。(姜)

台湾

高速鉄道(高鉄)の開通で台湾内の出張は大きく変わった。昔、台北から高雄や台南への出張は大抵1泊を考えたものだ。台中にしても午前中からアポを入れることが可能になった。開通以来、一貫して便数拡大を続けてきたこの高鉄が、不景気のおおりで後退を余儀なくされている。

高鉄は先月27日、現行の1日942便を、今月16日から816便に削減すると発表した。同時に幹部の給与をカットしてコスト削減に務める。

一方、平日の自由席の15%割引措置は拡大するという。便数削減によるコストカットと割引拡大は矛盾しているようにも見えるが、どうなのだろう。

日本の新幹線技術が初めて海を渡った高鉄。バスより値が張ったとしても、利便性が高ければわれわれ日本人ビジネスパーソンは応援する用意はあるのだが。(翠)

韓国

今年で90周年を迎えた、日本植民地支配からの独立運動「三・一独立運動」を記念する祝日「三一節」。独立記念館(京畿道天安市)やタプコル公園(ソウル鍾路区)では記念式典が行われ、全国各地で独立運動が再現された。

この運動の象徴とも言えるのが、太極旗だ。鍾路の普信閣で行われた打鐘行事には巨大な旗が登場。道を走るタクシーや大通りにも掲揚されている。日本の日の丸より目にする機会が多い太極旗。だが、最近ではオフィスビルなどでは掲揚しない建物も増えている。どうやら1999年の建築法改正で国旗掲揚台の義務設置が廃止され、景観を考慮して設置しないビルもあるとか。

「企業のグローバル志向のため」という理由もあるらしいが、こうして少しずつ街から太極旗が減っていくのは、なんだか寂しい気もする。(れ)

TOYOTA 各国自動車産業の概況とトヨタグループのアジア事業全貌を掲載!

アジアの日系自動車メーカートヨタグループ編

(マレーシア国内販売価格)

調査・編集：工業調査研究所 A4判 252頁/販売：NNA/価格：2,500リング

商品市況

海外主要市場の商品市況

(Bloombergより作成)

取引所	銘柄・タイプ	直近値	前日比	取引所	銘柄・タイプ	単位	直近値	前日比
LME (01日9時0分) 単位はすべてトン	銅先物	3449	-51.0	NYMEX (01日3時0分)	WTI原油先物	バレル	44.76	-0.46
	銅現物	3421.5	-49.5		天然ガス先物	MMBTU	4.198	+0.12
	アルミニウム先物	1342	-22.0		ガソリン先物	ガロン	137.25	-1.70
	アルミニウム現物	1308.5	-21.3		灯油先物	ガロン	126.75	-2.65
	すず先物	10925	-25.0		COMEX・金先物	オンス	965.7	-3.40
	すず現物	11130	-20.0		COMEX・銀先物	オンス	13.085	+0.14
	鉛先物	1046	+2.00	SICOM(01日16時0分)	ゴムRSS3先物	キログラム	142	-1.50
	鉛現物	1035.75	+2.75	LME = ロンドン金属取引所、NYMEX = ニューヨーク・マーカンタイル取引所 SICOM = シンガポール商品取引所 括弧内のデータ取得時間はいずれも現地時間 限月はLME先物が3カ月、NYMEXとSICOMが中心限月 直近値はガソリン先物、灯油先物、ゴムRSS先物は米セント 上記以外はすべて米ドル				
	ニッケル先物	10000	-55.0					
	ニッケル現物	9675	-430.0					
亜鉛先物	1128	-10.0						
亜鉛現物	1103	-10.8						

クロスレート

為替クロスレート 2009.2.27 19:00 JST

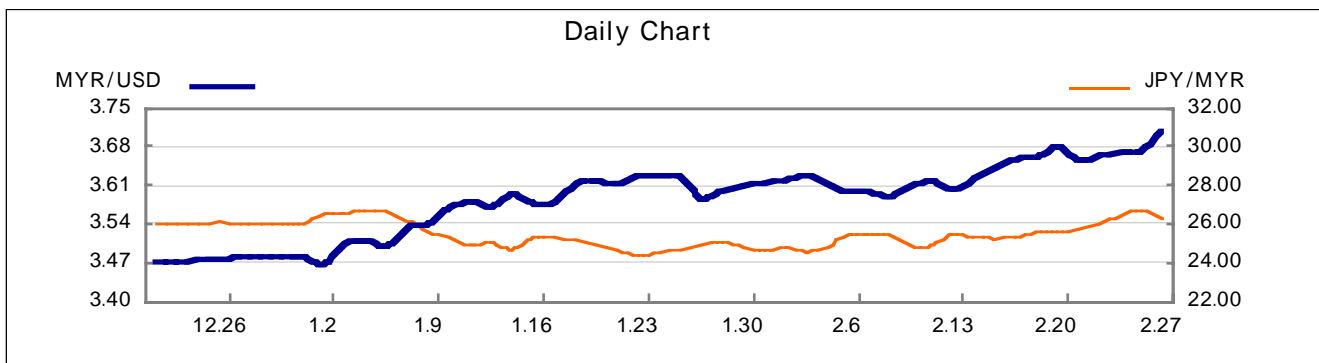
Bloomberg提供の各国通貨対円レート・対米ドルレートを元に自動計算

通貨 \ コード	JPY	USD	EUR	CNY	HKD	TWD	KRW	THB	MYR	SGD	IDR	PHP	AUD	NZD	INR	VND
日本円		0.0103	0.0081	0.0703	0.0797	0.3589	15.8152	0.3716	0.0381	0.0159	123.1671	0.5016	0.0161	0.0204	0.5226	179.7010
米ドル	97.270		0.7893	6.8378	7.75	34.9100	1538.30	36.1450	3.7065	1.5455	11980.00	48.7920	1.5623	1.9871	50.8337	17479.5000
ユーロ	123.626	1.2670		8.6635	9.8240	44.2309	1949.02	45.7957	4.6961	1.9581	15178.6	61.8194	1.9794	2.5176	64.4062	22146.4980
中国人民元	14.2253	0.1462	0.1154		1.1340	5.1054	224.970	5.2861	0.5421	0.2260	1752.03	7.1356	0.2285	0.2906	7.4342	2556.3047
香港ドル	12.5455	0.1290	0.1018	0.8819		4.5023	198.394	4.6616	0.4780	0.1993	1545.06	6.2927	0.2015	0.2563	6.5560	2254.3286
台湾ドル	2.7863	0.0286	0.0226	0.1959	0.2221		44.0647	1.0354	0.1062	0.0443	343.168	1.3977	0.0448	0.0569	1.4561	500.7018
韓国ウォン	0.0632	0.0007	0.0005	0.0044	0.0050	0.0227		0.0235	0.0024	0.0010	7.7878	0.0317	0.0010	0.0013	0.0330	11.3629
タイバーツ	2.6912	0.0277	0.0218	0.1892	0.2145	0.9658	42.5591		0.1025	0.0428	331.443	1.3499	0.0432	0.0550	1.4064	483.5939
マレーシアリンギ	26.2444	0.2698	0.2129	1.8448	2.0919	9.4186	415.028	9.7518		0.4170	3232.16	13.1639	0.4215	0.5361	13.7147	4715.9045
シンガポールドル	62.9408	0.6470	0.5107	4.4243	5.0170	22.5882	995.341	23.3873	2.3983		7751.54	31.5704	1.0108	1.2857	32.8914	11309.9321
インドネシアルピア	0.0081	0.00008	0.00007	0.00057	0.00065	0.0029	0.1284	0.0030	0.00031	0.00013		0.0041	0.00013	0.00017	0.0042	1.4591
フィリピンペソ	1.9936	0.0205	0.0162	0.1401	0.1589	0.7155	31.5277	0.7408	0.0760	0.0317	245.532		0.0320	0.0407	1.0418	358.2452
オーストラリアドル	62.2625	0.6401	0.5052	4.3769	4.9632	22.3458	984.663	23.1364	2.3725	0.9893	7668.38	31.2317		1.2719	32.5386	11188.5986
ニュージーランドドル	48.9536	0.5033	0.3972	3.4411	3.9021	17.5685	774.151	18.1900	1.8653	0.7778	6028.95	24.5546	0.7862		25.5821	8796.5759
インドルピー	1.9134	0.0197	0.0155	0.1345	0.1525	0.6867	30.261	0.7110	0.0729	0.0304	235.67	0.9598	0.00009	0.0391		343.8565
ベトナムドン	0.0056	0.00006	0.00005	0.00039	0.00044	0.0020	0.088	0.0021	0.00021	0.00009	0.69	0.0028	0.00009	0.00011	0.0029	

マーケット情報 為替と株式

為替											
地域	現地通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR	地域	通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR
オセアニア	ニュージーランドドル	27日	48.9536	1.9871	2.5168	アジア	ベトナムドン	27日	0.0056	17,479.50	22,139.18
	オーストラリアドル	27日	62.2625	1.5623	1.9786	欧州	ユーロ	27日	123.6260	0.7893	1.0000
アジア	日本円	27日	1.0000	97.270	123.195		英国ポンド	27日	139.7030	0.6986	0.8850
	韓国ウォン	27日	0.063	1,538.300	1,948.380		スイスフラン	27日	83.5183	1.1652	1.4807
	中国人民幣元	27日	14.2253	6.8378	8.6606		デンマーククローネ	27日	16.5910	5.8575	7.4521
	香港ドル	27日	12.5455	7.7538	9.8212		ロシアルーブル	27日	2.7167	35.8445	45.4987
	台湾ドル	27日	2.7863	34.9100	44.2137		ハンガリーフォリント	27日	0.4128	235.545	299.480
	フィリピンペソ	27日	1.9936	48.7920	61.7989		ポーランドズロチ	27日	26.6082	3.6629	4.6460
	シンガポールドル	27日	62.9408	1.5455	1.9571		チェココルナ	27日	4.3980	22.0915	28.1142
	マレーシアリングギ	27日	26.2444	3.7065	4.6945		スウェーデンクローナ	27日	10.8243	8.9828	11.4160
	タイバーツ	27日	2.6912	36.1450	45.7799		北米	米ドル	27日	97.955	1.0000
	インドネシアルピア	27日	0.0081	11,980.00	15,173.63	カナダドル		27日	76.4950	1.2666	1.6162
インドルピー	27日	1.9134	50.8337	64.3852	中南米	メキシコペソ	27日	6.3962	15.1059	19.3320	

オセアニア・アジア：19:00 JST、欧州・北米・中南米：16:00 GMT 時点 Bloombergより作成



株式													
地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比	地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比
オセアニア	ウェリントン	NZSX50	27日	2,522.32	24.88	222.57	アジア	ジャカルタ	JSX	27日	1,285.48	4.84	151.86
	シドニー	ASX	27日	3,296.90	0.50	358.80		マニラ	Composite PSE	27日	1,872.22	8.16	102.47
アジア	東京	日経平均	27日	7,568.42	110.49	1,474.70		ホーチミン	ベトナム株値指数	27日	245.74	3.21	67.60
		TOPIX	27日	756.71	14.18	119.20	ムンバイ	SENSEX30	27日	8,891.61	63.25	1,011.85	
		JASDAQ	27日	41.72	0.90	6.47	欧州	ロンドン	FTSE 100	27日	3,830.09	85.55	731.70
	ソウル	総合	27日	1,063.03	8.24	94.37		フランクフルト	DAX	27日	3,843.74	98.88	1,129.33
		KOSDAQ	27日	363.21	4.56	23.45		パリ	CAC40	27日	2,702.48	42.36	647.21
	上海	B株	27日	131.41	5.97	17.13		アムステルダム	AEX	27日	219.81	3.86	38.42
	深セン	B株	27日	300.54	10.02	19.96		ミラノ	MIBTEL	27日	12,526.00	248.00	2,979.00
	香港	ハンセン	27日	12,811.57	83.37	2,231.24		マドリード	IBEX35	27日	7,620.90	190.80	1,865.40
		ハンセンH	27日	6,902.84	92.57	1,411.27		ブリュッセル	BEL20	27日	1,696.58	8.43	284.19
	台北	加権	27日	4,557.15	38.59	141.16	チューリヒ	SMI	27日	4,690.67	80.11	1,065.42	
シンガポール	ST指数	27日	1,594.87	22.57	234.84	北米	ニューヨーク	ダウ	27日	7,062.93	119.15	2,867.09	
クアラルンプール	KLSE総合	27日	890.67	2.75	3.69			NASDAQ	27日	1,377.84	13.63	670.96	
バンコク	SET	27日	431.52	0.42	47.17		トロント	トロント300	27日	8,123.02	63.80	2,594.16	

Bloombergより作成

